

フェアを運営する県若者就職支援センターの担当者は「雇用状況が良くなっていくが、求職者が企業の生の声を聞ける機会も大切。企業と求職者の双方に良い出会いになれば」と話した。同フェアは21日に宇部市の国際ホテル宇部、26日に下松市のほしらくとくたまつ、28日に山口市の山口グランドホテルで開かれる。いずれも午後1時半から同センター(電話083・976・1145)へ。

労で送水管破断 企業団が経緯説明、陳謝

調査すべきでは「責任の所在は誰にあるのか」などの意見が出た。

同企業団の西元淳事務局長は「当時は企業側も業者側もこの工法で大丈夫という甘い考えで施工されたのでは」との見解を示し、改めて陳謝。第三者機関による調査の依頼は現段階では厳しいと述べた。

別の担当者は「振動による疲労破壊が当時の設計基準になかったことが一番の問題」とし、企業団が厚生労働省に提出した報告書が全国に情報提供されていることなどを明かした。送水管の長寿命化に向けた点検調査については、方法や実施時間などを検討中とした。

山口の阿知須共立病院 将来世代応援企業賞を受賞

山口市阿知須の阿知須共立病院が、山口など14県知事で行く「日本創生のための将来世代応援知事同盟」の将来世代応援企業賞を受賞した。19日に県庁で伝達式があり、三好正規理事長が村岡副政知事から賞状を受け取った。

同病院は長時間労働の削減や業務改善活動、短時間勤務制度といった子育てと

の両立支援、働き方改革などを展開。毎月第3週目に「6時だよー全員終了」と名付けた早めの帰宅の促進や、業務改善レベルに応じて色分けする「業改(ぎょ

うかい)ウオッチ」バッジの作製など、職員の提案からユニークな取り組みも進めている。

宮城県で5月31日に開催された同盟サミットで、山口県の推薦で受賞した。同賞は子育てや女性、若者への支援で、独自性や先進性のある取り組みを進める企業が対象。県内の受賞は5社となった。

村岡知事は「県としても子育て支援や働きやすい環境づくりに頑張っていく。山口県の代表として引き続き取り組んでほしい」と呼び掛けた。三好理事長は



村岡副政知事から「将来世代応援企業賞」の賞状を受け取る三好正規理事長＝19日、県庁

「職員の創意工夫による成果で、全員で力を合わせた結果。若い人の意見を取り入れながら良い職場づくりを進め、家庭内であすへのエネルギーを養ってもらいたい」と話した。



渡辺由香里

先日、短大時代の親友から結婚式の招待状が届きました。2年間同じ水泳部で、喜怒哀楽を共にしてきた最高の仲間です。あんなに本音でぶつかり合い、「チームで勝ちたい!」と思ったことは後にも先にもないかも...とふと思い出しまし

西京銀



車のイメージ図